

UpToDate Expert AI へようこそ

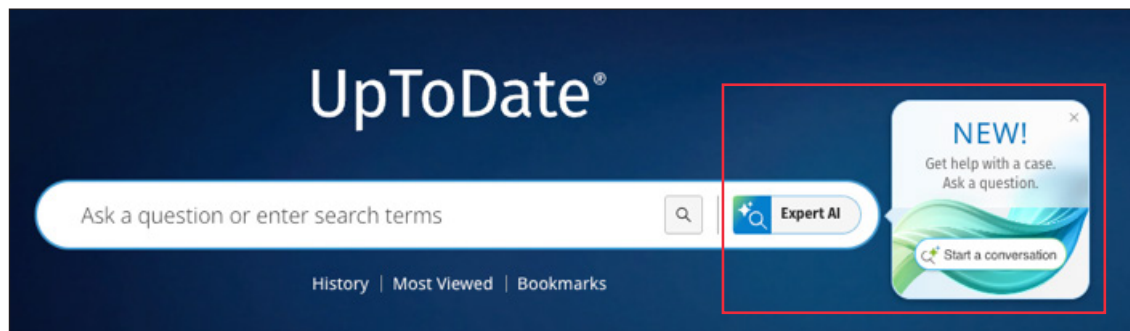
臨床意思決定支援の未来へようこそ! UpToDate® Expert AI がもたらす新たなエクスペリエンス。信頼性の高い、エビデンスに基づくインサイトで、よりの確な臨床推論を行えるようになりました。

目次

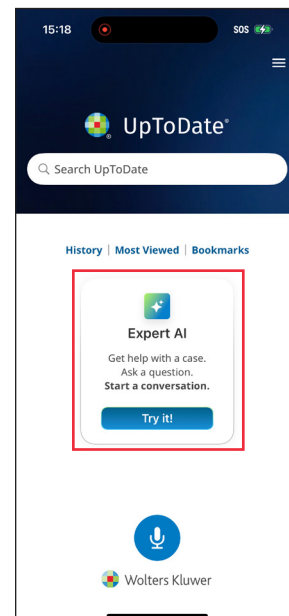
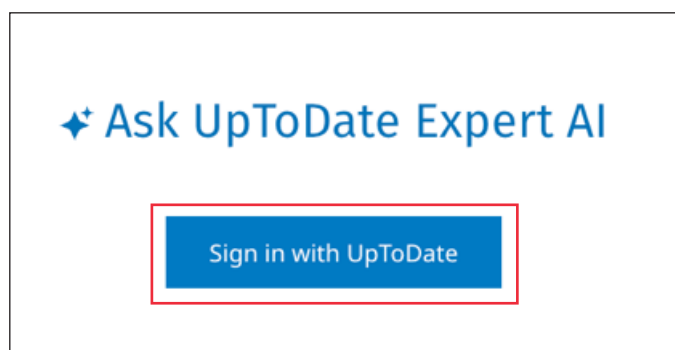
→ UpToDate Expert AI へのアクセス方法.....	2
→ UpToDate Expert AI で今できること.....	3
→ 効果的な質問の仕方.....	3
→ 効果的な質問の例.....	4
→ 補足質問	4
→ 回答内容に対する慎重な検討.....	4
→ フィードバックの共有方法.....	5

UpToDate Expert AI へのアクセス方法

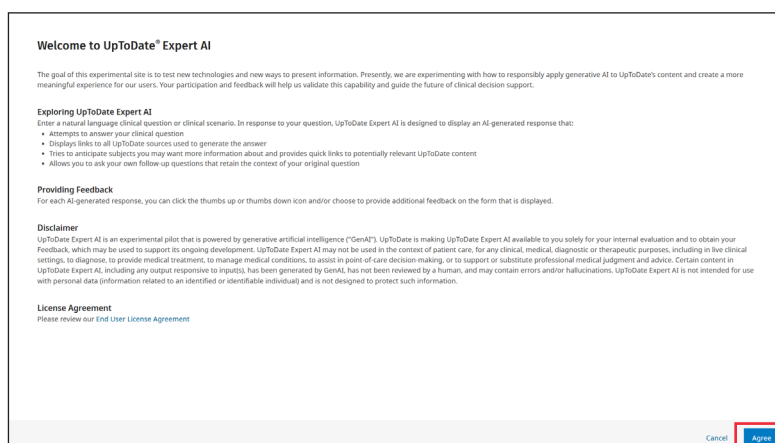
- <https://www.uptodate.com/login> にアクセスするか、UpToDate Mobile App (iOS および Android で利用可) を開きます。
- ご利用の UpToDate 認証情報でログインします。
- ログインでお困りの方[こちらのページをご覧ください](#)。
- ログインすると、検索バーの右側に [Expert AI] へのリンクが表示されます。
[Start a conversation (会話を開始する)] をクリックしてご利用を開始してください。



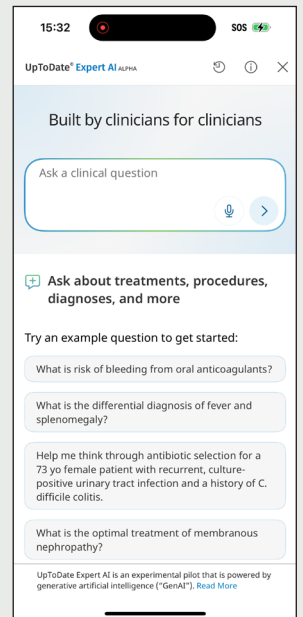
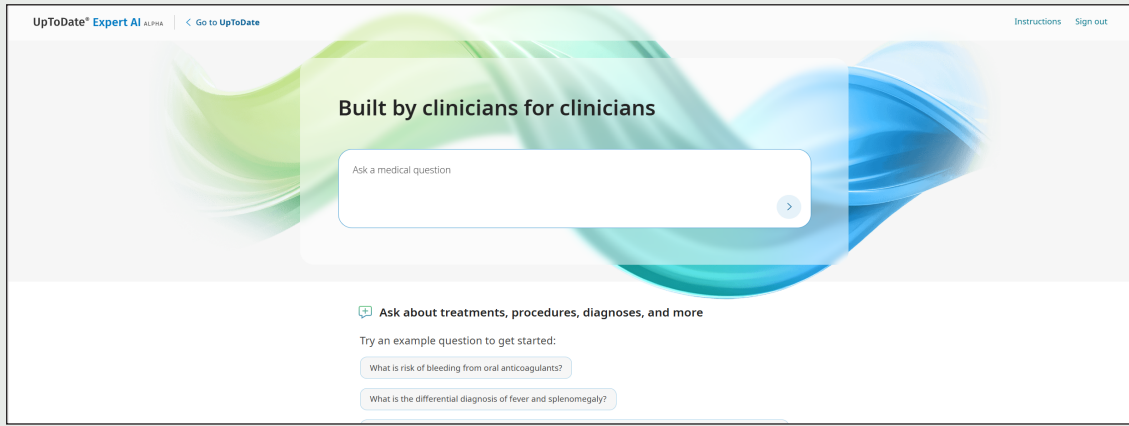
- [Sign in with UpToDate (UpToDate でサインインする)] をクリックします。



- 初回ログイン時は初期画面が表示され、エンドユーザー向けの使用許諾契約書を確認することができます。[Agree (同意する)] をクリックして、使用許諾契約書に同意します。



- これでログイン完了です! UpToDate Expert AI を利用できるようになりました。



UpToDate Expert AI で今できること

UpToDate は、信頼性の高いエビデンスに基づくコンテンツを活用し、症例検討や概念の明確化、疑問解決を通じて、臨床意思決定の支援を目的としております。

UpToDate Expert AI が患者情報にアクセスすることはありません。 質問時に入力された情報のみを基に動作します。質問が具体的であるほど、よりの確な回答が得られます。

UpToDate Expert AI では、保護医療情報（PHI）など、個人を特定できる健康情報を扱う利用が想定されていません。そのため、このような情報を保護する仕様になっていません。

さらに、現時点では、当システムは投薬に関する質問に対応していません。UpToDate の医療トピックから引用するのみとなります。UpToDate® Lexidrug™ の医薬品情報が統合される計画があり、近日利用可能になる予定です。

ご利用の前に、いま一度ご確認ください。

- UpToDate Expert AI は、**臨床意思決定を下したり、治療法を推奨したりするものではありません。**これらの行為は、UpToDate の範囲外となり、専門的な判断が必要になります。
- UpToDate Expert AI は**支援ツール**であり、臨床的専門知識に代わるものではありません。常に慎重に検討し、個別の検証は必ず実施してください。

効果的な質問の仕方

効果的な質問のためのヒント

重要なポイントには具体的かつ正確な表現を用いる－質問はすべて細かく詳述する必要はありません。ただし、微妙な違いが重要になる場合は、明確に質問することで、より質の高い回答が得られるようになります。

具体的かつ正確に（重要度が高い場合）

- 活動性疾患と併存疾患を区別する**
（「糖尿病歴のある肺炎患者」など）
- 用語を明確に定義する**
（肺腫瘍と結節を混同しない、など）
- 病状の経過を説明する**
（「最初のうちは改善が見られたが、2週間後に再発した」など）
- 投薬内容を明確にする**
（「ステロイド剤の使用」ではなく「プレドニゾン 60mg を毎日投薬」と表現する、など）
- 紛らわしい略語を避ける**
（「MS」が「多発性硬化」と「僧帽弁狭窄症」のどちらを指すのかを明確にする、など）。例えば、「MS 患者が発熱」と言われたら、どちらとも解釈できます。状況から判断できる場合であれば問題にならないかもしれませんが、場合によっては、このような区別が非常に重要なことがあります。正確さが求められる場合は、略語を使用せずに、質問を正確に解釈できるようにしてください。
- 関連性がある場合は疾患の病期や重症度を含める**
（CKD ステージ 3、重度のぜんそく、など）
- 質問は明確かつ具体的に述べる**
 - 例えば、高血圧の初期治療に対する併用療法をいつ実施するか検討している場合、広範な聞き方をせずに、そのままの内容で質問します。「HTN の初期薬剤は？」のような広範な質問では、一般的なレベルの回答しか得られない可能性があります。

効果的な質問の例

事実に基づく質問

- ・高カリウム血症を引き起こす薬剤は？
- ・強皮症の臨床的特徴は？
- ・ぜんそくについて教えてください。
- ・胃がんのリスク因子。

診断に関する質問

- ・オメプラゾール（Prilosec）の投薬患者がヘリコバクターピロリであるかどうか診断するには？
- ・紅斑性狼瘡の診断。

鑑別診断

- ・周産期の発熱原因は？
- ・血管炎で高用量ステロイドを長期的に投与していた患者（49 歳）が、MRI で新たな脳障害が見つかり、胸部 CT では肺腫瘍が見つかり入院。鑑別診断は？

症状の評価

- ・初発の発作を起こした 45 歳男性の評価。
- ・低体温症および昏睡状態で救急科に搬送された 19 歳男性の評価。

治療

- ・エールリヒア症はどのように治療しますか？
- ・47 歳の子宮内膜症患者への対応方法は？
- ・65 歳女性が COVID-19 と肺アスペルギルス症に重感染して ICU へ。この場合の治療方法は？

評価と対応

- ・2 歳児のチアノーゼに対する精密検査や治療

補足質問

補足質問をして、元の質問を深めていきます。

例えば、以下のとおりです。

- ・ **最初の段階**：「排尿障害および頻尿患者が UTI であるかどうか診断するには？」
- ・ **補足**：「尿検査結果待ちの間、経験的治療を行う必要がありますか？」

回答内容に対する慎重な検討

回答を得たら、質問内容に対処できるものであるかどうか、**回答内容を慎重にレビュー**します。

- ・不足や不十分なところがあれば、詳細情報を付け加えて元の質問を明確にしたり、補足質問を行ったりします。
- ・専門家が作成し、ピアレビューが行われた UpToDate のコアコンテンツなど、**必ず信頼性の高いソースを用いて検証してください**。関連する UpToDate トピックへのリンクは、一般的な回答文中、または文末の簡易参照から利用できます。

フィードバックの共有方法

成功談や失敗談をお聞かせください。アプリ内のフィードバックツールで、記事に対して「いいね」「反対」を示したり、他の関連情報などがあれば簡単にコメントを残したりして、自分の意見をリアルタイムで共有することができます。

回答内容に不安がある場合は、[Critical concern (重大な懸念)] ボタンをクリックすると、早急なレビューを促すことができます。

Feedback  

Please tell us more

Answer was clear Addressed my question Next steps were provided

Changed my plan Confirmed my plan Saved me time

Critical concern (triggers urgent review) Too slow

Your feedback Optional

Please provide additional feedback

Skip Submit

Feedback  

Please tell us more

Incorrect Missing important points Not helpful Question not addressed

Confusing or unclear Not concise or organized Wrong tone

Critical concern (triggers urgent review) Too slow

Your feedback Optional

Please provide additional feedback

Skip Submit

また、定期的にアプリ内のプロンプトを通じて、フィードバック調査の実施方法をはじめ、別途 UpToDate チームとの時間を設けて、詳細なフィードバックセッションや特定グループに参加する方法などが案内されます。